

Ⅰ. 学校法人の概要

(経営計画とその実施状況、学校経営の組織・体制等)

1. 経営計画（中期経営計画（第9次マスタープラン））と財政計画（第6次財政計画）

(1) 建学の綱領、経営理念、経営目標

① 建学の綱領

本学園は、学園創立と運営の基本方針として、次のとおり「建学の綱領」を掲げています。

- 一、学徒の品性を陶冶し真の国民としての教養を啓培する。
- 一、宇宙の真理を探究しこれを実生活に応用して社会に貢献する。
- 一、人類至高の精神、自由 平和 信愛を基調として世界に雄飛する人材を育成する。

② 経営理念

「建学の綱領」を補完する教職員共通の価値基準として、次のとおり「経営理念」を定めています。

For all the students ～すべての学生生徒のために～

この経営理念は、本学園が、学園に集う「すべての学生生徒のために」教育を施すことを規定するものです。本学園が教育機関である限り、すべての教職員が行う教育、研究および社会貢献等の諸活動における判断基準となるものです。併せて、学生生徒のためになれば、「**即実行する(Just Do It!)**」という行動規範も定めています。

公教育を担う学園（学校法人）としての使命を認識し、これらの経営理念と行動規範の下に全力をあげて教育を行い、社会に貢献する人材を育成することを内外に宣言するものです。

③ 経営目標

上述の経営理念と行動規範に基づき、次のとおり「経営目標」を掲げています。

情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を発揮し、広く社会に貢献する。

この経営目標は、教育、研究および社会貢献の3つの機能のいっそうの高度化を目指すものです。さらに、大学に求められる機能として、エンジニア、ゼネラリスト等の幅広い職業人養成、地域での生涯学習機会の提供、地域貢献、産学官連携等の社会貢献を含意するものです。

(2) 第9次マスタープラン（経営計画）と第6次財政計画の策定

① 第9次MP（マスタープラン）の策定

第9次MP策定にあたっては、理事長から大学・短大学長、高校校長及び法人事務局長へ諮問がなされました。テーマとして「学園のブランド力の確立と強化」、最重要課題として「学修者本位の教育の高度化」が、それぞれ計画策定の与件として示されました。

この諮問に沿って、3年6月、第9次マスタープラン策定委員会を設けて審議を開始し、当経営計画の資金的計画となる第6次中期財政計画の議論を並行し、理事長へ計画原案を答申、第407,408回理事会（4年3月25日）において承認・決定しました。

この第9次MPの目標は、上述のとおり「情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を発揮し、広く社会に貢献する」こととしています。その経営目標を具現化するために、次の6つの戦略で諸施策を実行することになっています。

- [戦略Ⅰ] 広報および募集活動の質的転換によるステイタス向上
- [戦略Ⅱ] 学修者本位の教育による付加価値向上
- [戦略Ⅲ] 特色ある研究によるプレゼンスアップ
- [戦略Ⅳ] キャリア教育と就職支援・進学支援による満足度向上
- [戦略Ⅴ] グローバル化と地域連携の推進
- [戦略Ⅵ] 財政基盤の安定と組織ガバナンスの強化

②第6次財政計画の策定

第9次MPの計画実現性を向上させ、その成果を拡大するためには、当該資金計画とその財源確保が不可欠との判断のもとに、第6次中期財政計画を策定し、理事長へ答申、第9次MPとともに理事会において承認・決定しました。

2. 経営と学校運営の体制

学校法人の理事会・評議員会に対しては、私立学校法を始め私学関連諸法規によって、自主性が尊重されている一方で、経営の主体的改善やその結果責任が強く求められています。

本学園では、この趣旨に沿い、理事会権限の明確化及び経営機能の強化を図り、監査法人と監事の連携強化等によって、経営活動（理事の業務執行等）及び教育研究活動、並びに財産状況のチェック機能等の充実（業務監査の結果については後述）を図っています。特に、経営・財政運営については格付会社2社の審査・評価を取り入れた、PDCAによる改善手法を導入しています。

役員（理事、監事）には公的機関、地元財界等から学識経験者や企業経営者を招き、豊富な経験や高い見識を結集し、また、評議員には卒業生及び学生のご父母を招請し、教育ニーズを詳細に把握、社会の要請に迅速・的確に応える学校経営を目指しています。

(1) 役員等の状況

①理事（定数9～13、実数11）

（令和6年3月31日現在）

区分	役職名等	氏名	就任年月日
常勤	理事長	大谷 忠彦	H12.4.1
常勤	常務理事	山下 剛	H27.11.29
常勤	福岡工業大学・同短期大学部学長	村山 理一	R5.4.1
常勤	附属城東高等学校 校長	佐伯 道彦	H28.8.26
常勤	経営管理部長	川口 敏弘	R2.4.1
常勤	法人事務局長	三澤 礼一郎	R4.4.1

非常勤	株式会社福岡銀行 行友	小幡 修	H30.11.29
非常勤	株式会社ふくや 代表取締役会長	川原 正孝	H21.4.1
非常勤	株式会社ユーコー 相談役 兼 監査役	森 紀久雄	H24.11.29
非常勤	学校法人千葉敬愛学園 常務理事	谷地 明弘	R3.11.29
非常勤	那珂川市春日那珂川水道企業団 代表監査委員	和志武 三樹男	R3.11.29

②監事（定数 2 ～ 3、実数 2）

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分	役職名等	氏名	就任年月日
非常勤	元 福岡市総合図書館 館長	松本 友行	R3.11.29
非常勤	株式会社福岡銀行 顧問	森川 康朗	R3.11.29

③評議員（定数 19 ～ 27、実数 25）

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

役職名等	氏名	就任年月日
学校法人福岡工業大学 理事長	大谷 忠彦	H9.11.29
学校法人福岡工業大学 常務理事	山下 剛	H27.11.29
福岡工業大学・同短期大学部学長	村山 理一	R5.4.1
附属城東高等学校 校長	佐伯 道彦	H28.8.26
学校法人福岡工業大学 経営管理部長	川口 敏弘	R2.4.1
学校法人福岡工業大学 法人事務局長	三澤 礼一郎	R4.4.1
株式会社福岡銀行 行友	小幡 修	H26.5.1
株式会社ふくや 代表取締役会長	川原 正孝	H21.4.1
株式会社ユーコー 相談役 兼 監査役	森 紀久雄	H21.11.29
学校法人千葉敬愛学園 常務理事	谷地 明弘	R3.11.29
那珂川市春日那珂川水道企業団 代表監査委員	和志武 三樹男	R3.11.29
福岡工業大学 副学長・教授	倪 宝栄	R5.4.1
福岡工業大学 副学長・教授	前田 洋	R5.4.1
福岡工業大学 教授	梶原 寿了	H30.4.1
福岡工業大学 学生部兼就職部事務部長	本行 義洋	R5.4.1
元 福岡工業大学 教授	田中 秀司	H4.4.1
株式会社電子商事 代表取締役	中野 武志	H6.11.29
株式会社福岡放送	伊藤 昭彦	R5.4.1
社会福祉法人創生会 理事長	伊東 鐘賛	H18.11.29
福岡工業大学 教育後援会	松本 香奈美	R2.4.1
元 福岡工業大学 教授	阿山 光利	R3.4.1
学校法人福岡工業大学 東京事務所長	池田 悦雄	H29.4.1
元 福岡工業大学 教授	内田 一徳	H24.4.1
前澤工業株式会社九州支店 顧問	高田 洋征	H23.11.29
九州朝日放送 西日本新聞 プロ野球解説者	藤原 満	H15.11.29

(2) 役員賠償責任保険制度の加入状況

私立学校法改正（2年4月1日施行）に伴い、第406回理事会決議（4年2月25日開催）により、4年4月1日から役員賠償責任保険に加入しました。

団体契約者	日本私立大学協会
被保険者	理事・監事・評議員
補償内容	①役員に関する補償（法律上の損害賠償金、訴訟費用等） ②法人に関する補償（内部調査費用、第三委員会設置・活動費用等） ※但し、侵害行為を行った本人に発生する損害賠償責任は補償の対象外

(3) 教職員の状況

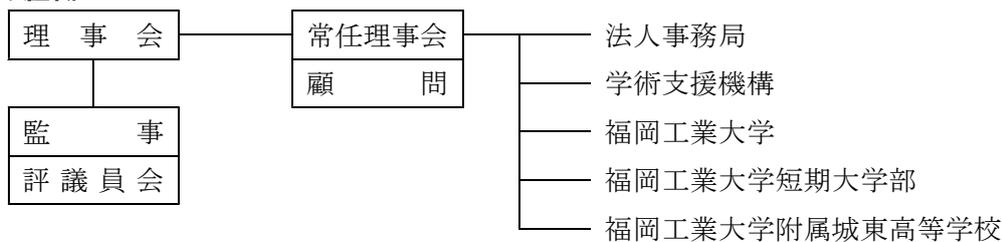
（令和6年5月1日現在）

設置学部等	5年度 教職員数				6年度 教職員数			
	教育職員*3	前年比	事務職員	前年比	教育職員*3	前年比	事務職員	前年比
福岡工業大学*2	146(29.8)	2	125	△4	149(29.9)	3	122	△3
工学部	57(30.2)	△1	—	—	57(31.0)	0	—	—
情報工学部	59(29.2)	1	—	—	63(28.0)	4	—	—
社会環境学部	16(44.3)	1	—	—	15(48.1)	△1	—	—
教養力育成センター	14(—)	1	—	—	14(—)	0	—	—
福岡工業大学短期大学部	13(27.5)	0	7	0	14(23.5)	1	7	0
情報メディア学科	13(27.5)	0	—	—	14(23.5)	1	—	—
福岡工業大学附属城東高等学校	106(18.5)	0	14	0	106(18.5)	0	15	1
合計	265(—)	0	146	△4	269(—)	4	144	△2

*2 大学・短大教員には特任を含む *3 ()内は教員一人当たり学生数

(4) 組織

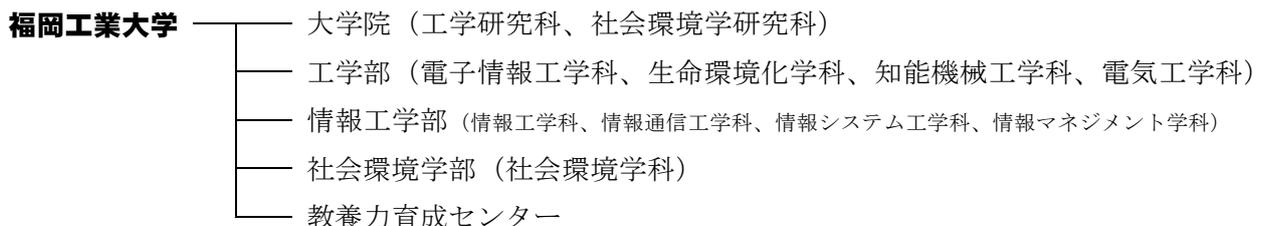
（令和6年5月1日現在）



3. 設置する学校・学部・学科等、学生・生徒数

(1) 設置学校・学部・学科等の構成

（令和6年5月1日現在）



福岡工業大学短期大学部 — 情報メディア学科

福岡工業大学附属城東高等学校 — 普通科、電気科、電子情報科

(2) 学生・生徒数**1) 学生生徒数の状況**

(令和6年5月1日現在、単位：人)

設置学部等	5年度 学生・生徒数					6年度 学生・生徒数			
	定員	R5 現員	R4 現員	入学定員	入学者数	定員	現員	入学定員	入学者数
福岡工業大学	3,872	4,346	4,339	989	1,133	3,897	4,451	1,014	1,150
(研究科を除く)	(3,720)	(4,154)	(4,165)	(915)	(1,038)	(3,745)	(4,252)	(940)	(1,069)
工学部	1,520	1,721	1,734	380	429	1,520	1,768	380	429
電子情報工学科	360	406	408	90	105	360	408	90	101
生命環境化学科	360	396	402	90	97	360	417	90	111
知能機械工学科	440	510	510	110	126	440	510	110	115
電気工学科	360	409	414	90	101	360	433	90	102
情報工学部	1,500	1,725	1,715	375	423	1,525	1,762	400	455
情報工学科	520	592	593	130	145	520	592	130	150
情報通信工学科	360	420	419	90	101	360	423	90	102
情報システム工学科	360	413	402	90	103	360	410	90	100
システムマネジメント学科 (R6.4 募停)	260	300	301	65	74	195	234	—	—
情報マネジメント学科	—	—	—	—	—	90	103	90	103
社会環境学部・社会環境学科	700	708	716	160	186	700	722	160	185
研究科	152	192	174	74	95	152	199	74	81
工学研究科 (修士)	128	179	152	64	90	128	179	64	73
工学研究科 (博士)	12	9	11	4	2	12	14	4	5
社会環境学研究科 (修士)	12	4	11	6	3	12	6	6	3
福岡工業大学短期大学部	320	358	381	160	159	320	329	160	154
情報メディア学科	320	358	381	160	159	320	329	160	154
福岡工業大学附属城東高等学校	1,650	1,966	1,942	550	781	1,650	1,963	550	607
普通科	1,050	1,454	1,384	350	581	1,050	1,467	350	471
電気科	300	138	171	100	52	300	123	100	28
電子情報科	300	374	387	100	148	300	373	100	108
合計	5,842	6,670	6,662	1,699	2,073	5,867	6,743	1,724	1,911

2) 収容定員充足率 (経年比較)

(単位：%)

学校名	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
大学	113.5	113.6	112.0	111.7	113.5
研究科	106.6	107.2	114.5	126.3	130.9
短期大学部	116.6	110.9	119.1	111.9	102.8
高校	120.7	117.9	117.7	119.2	119.0

4. 学校法人の沿革（学校・学部・学科等の設置・組織変更、施設等の沿革等）

(1) 沿革

年 月	学校、学部等の設置、名称変更等＜当該趣旨＞
昭和 29 年 4 月	福岡高等無線電信学校創設
昭和 33 年 4 月	学校法人福岡電波学園福岡電波高等学校開設
昭和 35 年 4 月	福岡電子工業短期大学開設
昭和 38 年 4 月	福岡電波学園電子工業大学開設、同工学部を設置
昭和 41 年 4 月	大学を「福岡工業大学」に、短期大学を「福岡工業短期大学」に改称
昭和 48 年 9 月	法人を「学校法人福岡工業大学」に改称
昭和 49 年 8 月	高校を「福岡工業大学付属高等学校」に改称
平成 5 年 4 月	大学院工学研究科（修士課程）を設置
平成 9 年 4 月	大学に「情報工学部」を設置
平成 11 年 4 月	大学院工学研究科（博士後期課程）を設置
平成 13 年 4 月	大学に「社会環境学部」を設置 高校を「福岡工業大学附属城東高等学校」に改称
平成 14 年 4 月	短期大学を「福岡工業大学短期大学部」に改称
平成 17 年 4 月	短期大学部電子情報システム学科を「情報メディア学科」に、OA 情報システム学科を「ビジネス情報学科」に改称
平成 19 年 4 月	大学院社会環境学研究科（修士課程）を設置
平成 21 年 4 月	大学院工学研究科（修士課程）「機能材料工学専攻」を「生命環境科学専攻」に改組
平成 22 年 4 月	FD*1 推進機構を設置 *1 Faculty Development
平成 25 年 4 月	改革推進室を経営企画室に改称＜経営計画策定とその実現性向上＞ 国際交流支援室を国際戦略室に改称＜国のグローバル戦略への適応＞
平成 26 年 4 月	先端計測技術研究センターを設置＜研究成果の地域社会への還元＞ 大学・地域連携推進室を設置＜外部連携による地域発展への貢献＞
平成 27 年 4 月	大学の入学定員を 830 名から 915 名（工学部 380 名・情報工学部 375 名・社会環境学部 160 名）に変更＜学生定員の実質化（志願者ニーズへの適応）＞ 教養力育成センターを設置＜教養教育の見直しとその教育方法等改善＞
平成 28 年 4 月	物質・エネルギーデバイス研究センターを設置＜研究成果の地域社会への還元＞ 学長室を設置＜学長を中心とした教学ガバナンス強化＞ 大学院工学研究科（修士課程）「管理工学専攻」を「情報システム工学専攻」と「システムマネジメント専攻」に改組
平成 29 年 8 月	エレクトロニクス研究所インキュベーションスタジオ 2 を設置＜研究の高度化・活発化への対応＞ 同研究所食品農医薬品研究センター研究活動開始（研究 7 テーマの選定）
平成 29 年 11 月	情報科学研究所電磁波計測センターおよびインキュベーションスタジオ 3 を設置＜研究の高度化・活発化への対応＞ 環境科学研究所あまみず社会研究センターを設置＜研究の高度化・研究成果の地域社会への還元＞
平成 30 年 1 月	インキュベーションスタジオ 1 を設置＜研究の高度化・活発化への対応＞

平成 30 年 4 月	大学工学部「生命環境科学科」を「生命環境化学科」に改称
平成 31 年 4 月	大学院工学研究科(修士)「生命環境科学専攻」を「生命環境化学専攻」に改称
令和 2 年 4 月	短期大学部に「情報メディア学科」を設置
令和 5 年 4 月	教育開発推進機構、社会連携センターを設置
令和 6 年 4 月	大学情報工学部に「情報マネジメント学科」を設置 大学の入学定員を 915 名から 940 名（工学部 380 名・情報工学部 400 名・社会環境学部 160 名）に変更＜学生定員の実質化（志願者ニーズへの適応）＞

(2) 校舎等施設の整備

年 月	施設・設備等の名称、用途等＜当該趣旨＞
昭和 61 年 6 月	本部棟竣工（法人本部・事務局、図書館、エクステンションセンターなど） 附属高校体育館竣工（武道場を含む）
昭和 61 年 7 月	附属高校校舎竣工、大学クラブハウス竣工
昭和 63 年 3 月	新宮総合グラウンド竣工（野球場、ラグビー・サッカー場）
平成 3 年 1 月	1 号館（現 C 棟）竣工（情報工学部、学生ホールなど）
平成 5 年 3 月	女子寮（コスモス寮）竣工
平成 11 年 2 月	α 棟竣工（モノづくりセンター、キャリアサポートセンター、多目的ホールなど）
平成 12 年 10 月	FIT アリーナ竣工（多目的ホール兼体育館、トレーニングセンター） 附属高校課外教育施設（B2 新棟）竣工
平成 13 年 2 月	A 棟竣工（工学部、社会環境学部など）
平成 15 年 10 月	新学生寮（坦心寮）竣工
平成 16 年 1 月	B 棟竣工（情報工学部、短期大学部、情報処理センター、研究所など）
平成 16 年 3 月	附属高校セミナーハウス（上善荘）竣工
平成 16 年 7 月	D 棟竣工（工学部、情報工学部、工作センターなど）
平成 16 年 8 月	大学高電圧実験棟、車庫棟、駐輪場竣工
平成 21 年 1 月	附属高校校舎内外装全面改修・増築（生徒数増加に伴う教室増など）
平成 23 年 3 月	FIT ホール竣工（多目的ホールなど）、運動場用地取得（福岡市塩浜約 1 万坪）
平成 24 年 3 月	塩浜総合グラウンド竣工（野球場、室内練習場、多目的グラウンドなど）
平成 24 年 4 月	FIT トレーニング棟竣工、FIT セミナーハウス土地・建物取得（大分県由布市湯布院町）
平成 24 年 8 月	FIT セミナーハウス竣工＜学外合宿研修（人間性教育）への対応＞
平成 24 年 12 月	FIT セミナーハウス隣地（駐車場用地、3,695 m ² ）取得
平成 26 年 2 月	D 棟南側隣地（駐輪・駐車場用地、684 m ² ）の取得
平成 26 年 4 月	守衛室（52.26 m ² ）建替・周辺整備
平成 26 年 9 月	FIT アリーナ西側隣地（運動場用地、2,307.89 m ² ）の取得
平成 27 年 4 月	おとめが池（4,690 m ² ）護岸整備＜学生休息地・環境教育フィールドの拡大＞
平成 27 年 10 月	FIT アリーナウエストコート（スポーツコート、相撲場）、駐車場竣工 附属図書館・FIT Link 改装＜ラーニングcommons整備、ICT 機能向上＞
平成 28 年 2 月	情報処理センター・クリエイティブラボ改修＜ ICT 機能向上＞

平成 28 年 3 月	A 棟学生ホール(1 階)、リフレッシュコーナー (2～4 階) 改修<ラーニングコモンズ整備>
平成 28 年 8 月	E 棟(6,884.19 m ²) 竣工(総合研究機構、学生サポートセンター、FD 推進機構など)
平成 28 年 11 月	B 棟(1 階)学生ラウンジ改装<ラーニングコモンズ整備など>
平成 29 年 1 月	α 棟(2 階)グローバルスチューデントラウンジ改装<グローバル化教育推進>
平成 29 年 3 月	C 棟(1 階)学生ホール改装<ラーニングコモンズ機能向上・レストラン改装>
	B 棟(2～3 階)高度 ICT 環境の整備
	B・C・D 棟(各階)改修<ラーニングコモンズ整備>
平成 29 年 4 月	坦心寮大規模改修<居室・共用スペースの環境改善>
平成 29 年 8 月	F 棟(780.34 m ²) 竣工 (エレクトロニクス研究所 (インキュベーションスタジオ 2)) <研究の高度化・活発化への対応>
令和 2 年 3 月	本部棟(1 階)「音とモノづくりの歴史資料館」改装 <地域の教養・文化の発展>
令和 2 年 8 月	高校校舎 (1 号館) (2,273.64 m ²) 竣工
令和 2 年 12 月	高校体育館 (6,335.80 m ²) 竣工
令和 3 年 2 月	横断歩道橋 (高校体育館・1 号館接続) 竣工
令和 3 年 9 月	JR 福工大前駅からのアプローチ整備 <通学路の排水改善・学園の景観改善>
令和 4 年 3 月	E 棟・学習支援センター、A 棟教養力育成センター・FD サロン・ラーニングスペース整備、A 棟売店改修<教育改善、学修・学生生活環境改善>
令和 4 年 8 月	高校和白グラウンド (18,217.50 m ²) 改修工事 (全面人工芝化・400m × 6 レーン設置など) 竣工<正課・課外活動活発化、安全性向上、地域社会貢献等>
令和 5 年 3 月	本部棟(8 階)DX スタジオ整備<ICT 環境整備、デジタル活用高度専門人材育成>
令和 6 年 3 月	情報工学部情報マネジメント学科新設に伴う実験室・演習室等改修<理系人材・デジタル人材育成に向けた教育環境整備>

(3) 土地・建物の面積等

(単位：m²、法人合計)

施設等名称	土地	建物	施設等名称	土地	建物
校舎等*2	80,320	96,962	屋外運動場	121,292	
うち、管理関係	/	47,613	合宿・研修施設	9,255	1,413
うち、図書館*1		4,722	寄宿舍	7,575	11,492
うち、研究所		1,952	その他*2	16,160	22,738
			合 計	234,602	132,605

*1 図書館蔵書数 353,658 冊、閲覧室座席数 695 席 (α 棟 3 階含)、
高校図書室蔵書数 27,478 冊、閲覧室座席数 55 席

*2 体育館用地は「校舎等」に、体育館の建物は「その他」に計上している。